

## 会員報告

### 第6回アネラ音楽祭

I. Y

9月24日(土)に、沖縄県嘉手納町ロータリープラザ中央公民館大ホールで行われた「第6回アネラ音楽祭」に出演者として参加してきました。このアネラ音楽祭は「NPO 法人サポートセンターケントミ」が主催する音楽祭で、障がい者が演奏に参加し、それを支えるたくさんの人たちと感動を分かち合い、生きる、活きる楽しさを伝える音楽祭です。

そもそも、なんで参加することになったかというと、私と同じ頸髄損傷者の宮野秀樹さんが、アネラ音楽祭の主催者である我如古盛健さんと知り合いで、出てみないかという話があり、宮野さんからの誘いで出演者として出ることを決めました。そして今回、私は歌だけではなく、楽器を使って出演することになりました。私が使う楽器は、ハーモニカです。手がうまく使えない私が、どうやってハーモニカを演奏するかというと、ハーモニカホルダーとよばれるものでハーモニカをはさみ、首にかけて演奏します。



「ハーモニカを吹いてるところ」

こうすることによって、手を使わずにハーモニカを吹くことが出来ます。受傷時、リハビリの1つとしてハーモニカを使って、演奏していました。今でも続けていて、披露する機会がないかと思っていたところでした。さて、「何の曲をするか」、「誰と歌うか」ということになりますが、同じ頸髄損傷者、同じ地域で暮らしている土田さん、M

さんと三線を引くFさんの4人との、曲は夏川りみの「涙そうそう」に決まりました。この話しを進めていた時に、宮野さんからオファーがあり、挑戦したいと思っていたので、いい機会だと思い、掛け持ちすることにしました。宮野さんのグループは宮野さんと私、そして、ギターを演奏するSさんの3人で、曲は竹原ピストルの「オールドルーキー」を演奏することに決まりました。このアーティストの事を知りたければ、宮野さんに聞いてみてください。熱く語ってくれます。チーム名は、土田さんのチームが「ポシブルズ IT/FM」、宮野さんとのチームが「Daniel45」に決まりました。「ポシブルズ IT/FM」は事業所名と頭文字をとったもので、「ダニエル45」はSさんのあだ名「ダニエル」と宮野さんの年齢45を合わせた名前前で伊藤の要素が1つも入っていません(涙)



「ダニエル45の練習風景」

沖縄で開催されるので、2泊3日で行くことにしました。宿泊する場所がなかなか決まらなく、悩んでいました。というのも沖縄に2泊3日で宿泊するにはお金が多くかかってしまい、なるべく安いところはないか調べていたからです。我如古さんに相談したところホテルではないが、安いところがあると教えてもらいました。それは、SYM高齢者複合施設煌(きらり)といわれる施設です。ここの1階を格安で使ってもいいと教えていただき安心しました。次の問題は交通でした。沖縄の乗り物「ゆいレール」がありますが、宿泊先はゆいレールを降りてから遠く、福祉タクシーでは2

台借りないといけない為、福祉バス「そらぼーと号」を借りました。この「そらぼーと号」はスロープで車いすが何台も乗れるバスです。この「そらぼーと号」のおかげで交通の問題が解消され、沖縄で時間を気にすることなく動くことが出来ました。



そらポート号

そして9月23日、大阪空港から飛行機で沖縄に向かいます。何回乗っても、飛行機は苦手です。あと何回乗ったら慣れることや。飛行機を降りて、煌(きらり)に行く前にBONESという飲食店に行きました。気をつけておかなければならないことは15cm位の段差があるため、簡易スロープを持って行ってください。ここはバーベキュー、ハンバーガー、ステーキなどお肉がメインのお店で、お肉が大好きな私にとってたまらないお店でした。ローストチキン、ロングスモークソーセージ等、めちゃくちゃ美味しい料理ばかりでした。お腹が満たされ、煌(きらり)に行こうとしているときに、店員さんからプレゼントで噴出花火を頂きました。その場で行い、心まで満たされ、しあわせな時間でした。さて、煌(きらり)に向かって出発です。煌(きらり)までは約30分かかり、施設長さん、職員さんに挨拶をし、宿泊させていただきました。

翌朝、起きて外に出ると、昨日は気づかなかったのですが、海がよく見えて、きれいでした。煌(きらり)で朝食を頂き、お腹も心も最高のコンディションで9:00に「そらぼーと号」に乗って、ロータリープラザ2F 嘉手納中央公民館大ホールに向かいます。着いて早速、リハーサルが行われました。ステージに上がるには階段昇降機を使うのですが、ここで問題が発生しました。宮野さん

の車椅子の重さで階段昇降機が止まってしまうというアクシデントが起きました。業者の方が来られて、その時は何とか動きましたが、「次はいつ止まるかわからない」といわれ、演奏はステージ前でやろうと決まっていたのですが、宮野さんは「沖縄まで来たのだから、ステージの上でやる」と言い返しました。この熱意が通じ、本番もステージ上でやることになりました。「ダニエル45」は今回の為におそろいのポロシャツを作りました。後ろには『DANIEL45』、前の胸ポケットには『オレは簡単に転がらねえ だから簡単に起き上がりもしねえ だがしかし 自立はするんだもんね』の文字が入った、めちゃくちゃカッコいいポロシャツです。

さて、ステージ裏で待機していると、司会者からの声がかかりました。一気に緊張が高まりました。『ダニエル45』の順番は5番目で、心配だった階段昇降機は止まることもなく、ステージまで上がれました。

司会者の紹介後、自己紹介として、ハーモニカで童謡「チューリップ」を演奏。微妙にうけました(笑)。3人が集まった練習は数えるほどしか出来なかったのですが、宮野さんの「私たちはプロではありません。一生懸命演奏するだけです」の言葉通り、魂がこもった演奏が出来ました。練習の中で全員が失敗せず、演奏できたということが1回しかなかったのですが、本番でパーフェクトな演奏できました。奇跡でした。



ダニエル45の演奏

続いて、「ポシブルズ IT/FM」の演奏です。ポシブルズ IT/FMの順番は10番目。まさかの最後でした。練習の回数はダニエル45より多く、こちらも一生懸命演奏するだけでした。「重度の障

がいがあっても、地域で楽しく暮らせているんだということを、歌を通して届けたい」の思いで楽しく演奏、歌うことが出来ました。たとえ、最初のハーモニカの音を外したとしても(笑)。土田さん、Mさんも同じ思いで歌っていました。「ポシブルズ IT/FM」も練習の成果が出せた演奏でした。



ポシブルズ IT/FM の演奏

すべての演奏が終わり、ステージ下でドキドキしながら結果を待っていました。そして結果発表、1位は「ダニエル 45!!」という言葉で宮野さんとSさんが登場!“えっおれは?なんでおれ抜きでステージに上がってんの?”羨ましくステージ上の2人を見つめていたら、それに宮野さんが気づき、「早く上がってこい」と目で合図され、私も急いでステージに上がり、1位の喜びを感じました。しかし、調子に乗りすぎてまたやらかしてしまいました。何をやらかしたかといいますが、琉球新報といわれる沖縄県を中心に発行されている日刊新聞に載せるために「ダニエル 45」の取材を受けていた時、「ポシブルズ IT/FM」のシャツを着ていて、写真を撮るものと勘違いして、「ダニエル 45」のポロシャツを着替えにいきました。かえってくると取材は終わっていて、写真も撮られてなかったです。自分の行動を見つめ直そうと思った今日この頃でした。

アネラ音楽祭が終わり、煌(きらり)に戻ると、SYM 高齢者複合施設で『敬老の夕べ』という名前の夏祭り?が行われていました。施設の敷地内で屋台、琉球舞踊、カラオケ大会がありました。そこでびっくりする出来事がありました。自分がイメージしていた施設は、施設の人だけで行うものだと思っていたのですが、同じ町内の方達がたくさん集まってきて、みんなで楽しんでいたことです。沖縄で他の施設でもこういうことがあるのか

は分かりませんが、驚きでした。驚きはこれだけではありません。カラオケ大会で演奏してくれと頼まれたことです。宿泊先を提供していただいたこともあり、喜んで演奏させていただきました。『ダニエル 45』も『ポシブルズ IT/FM』ともに演奏して、音楽だらけの充実した1日でした。

最終日は、国際通りで買い物をして、那覇空港からの飛行機で兵庫に帰りました。

今回、演奏者として参加できて結果よりも目標をもって努力することの大切さを学びました。これは人生においても一緒に、明確な目標をもって努力すれば結果はついてくるんだなと思いました。これからもこの気持ちを忘れず日々、目標をもって生活していこうと思っています。SYM 高齢者複合施設での宿泊はとてもいい体験でした。入所されてる高齢者の方は施設だけの生活ではなく、地域で楽しく暮らしているのだなと感じました。これは、障がい者でも一緒に地域で楽しく、自分らしく暮らす障がい者がたくさんいればいいなと思いました。

今回このアネラ音楽祭を作って、動いてくださった実行委員会、そして練習や本番で手助けしてくれたケアスタッフ、一緒に演奏してくれた「ダニエル 45」、「ポシブルズ IT/FM」本当にありがとうございました。



ダニエル 45 優勝写真